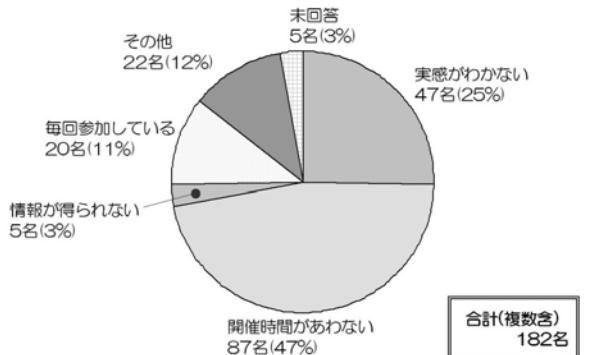
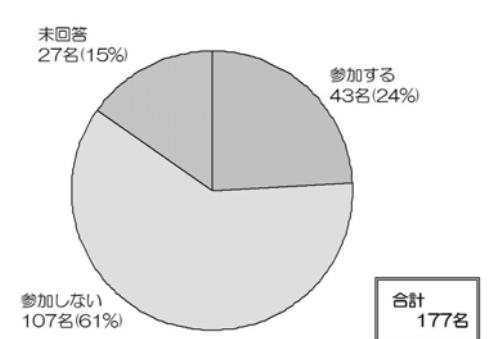


設問-8 *まちづくり活動の参加について*****
まちづくり活動に参加されなかつたときの主な理由は何ですか?



設問-9
まちづくり勉強会の参加者として、まちづくり検討や現地立入などに参加しませんか?



自由意見・コメント

- [瑞慶覧ハウジングエリアについて]300坪は大きいが瑞慶覧地区の目玉としての役割は理解できる。
- [施行主体を決めるためには] 区画整理をもっと勉強するべき。
- はつきりした返還がきまらないと、地権者各自の計画も立てにくい現状ではないでしょうか。
- 景観豊かな海の見える街造りをして欲しい。
- 一番心配なのは、直前でNOと言う人がてきて、まちづくりが遅れる事です。
- 最近できた新しい町のコピーみたいなものではなく、なるべく緑を残し、それを活かした町づくりをして欲しい。

おわりに・・・

今回のアンケートは、回答率が29.4%となってあります。平成14年度から毎年アンケート調査を行っていますが、過去最低の回答率となりました。

SACOの最終報告で示された平成19年度末が目前に迫っても、返還の時期や詳細な情報が明確にならず、跡地利用を考えるまちづくり活動も大きな進展が図れない状況ではあります。

しかし必ず訪れる基地の返還に向けて、少しずつでも着実に跡地利用を進める必要があります。

また返還される土地の地主のみなさんが、積極的に跡地利用の活動を行いアピールすることで国や県などの支援や協力を得ることが必要です。

今年度まで明確に示されなかつた返還に関する詳細な内容が、今後明らかになるものと考えます。

地権者のみさんのひとりひとりが返還後の跡地利用、まちづくり活動に積極的に参加していただけよう今後も進めてまいります。

今後のキャンプ瑞慶覧返還予定地区のまちづくり活動にご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行: 宜野湾市基地政策部基地跡地対策課

TEL 098-893-4401 (直通)

2008年3月 Vol. 19

《本号の概要》 アンケート調査、ご協力ありがとうございます。【結果報告】

平素は、宜野湾市政に格段のご理解とご協力、更に宜野湾市軍用地等地主会の発展にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて先般、平成19年度地権者アンケート（意向）調査を実施いたしました。

今回の調査は無記名式として、“みなさんのお持ちの土地をまちづくり計画にある各種の土地利用ゾーンのどこで使いたい”など、以下のような内容について、みなさんのご意見お考えを確認させていただきました。

地権者アンケート（意向）調査の内容

- 土地利用希望（希望エリア）について
- 『ぎのわん多自然型住宅地』の造成方法について
- 『瑞慶覧ハウジングエリア』の土地利用イメージについて
- 土地区画整理事業の実行者について
- 土地の売却意向と利用について
- まちづくり活動への参加について



このまちづくりニュースでは、アンケート調査の結果をご報告させていただきます。

みなさんにお願いしましたアンケートの返送期限は終了しておりますが、まだ返送されていない方におかれましては、今後も継続的にみなさんのご意見として確認・集計していくたいと考えておりますので、是非ご返送いただきますようお願い致します。

ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当: 新垣、名幸

TEL: 098-893-4401 (直通) FAX: 098-892-7022

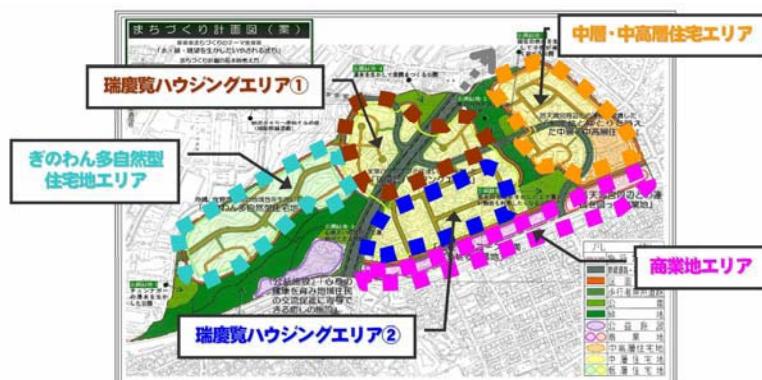
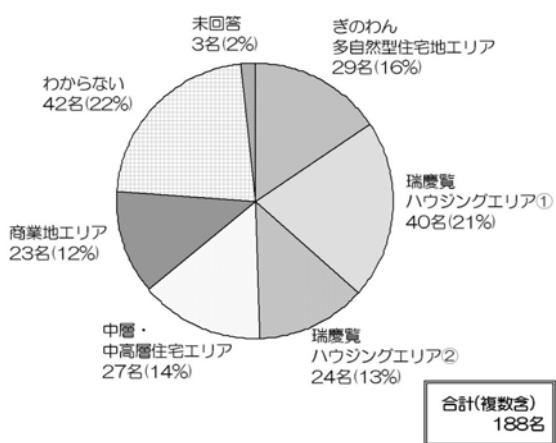
地権者アンケート（意向）調査 結果報告

平成 19 年度アンケート（意向）調査の概要

項目	内 容	
調査対象	返還予定区域の全地権者（共有所有の場合それぞれの方に送付）	
調査内容	本地区の整備の方向性、将来イメージの確認、まちづくりに対する意識	
調査期間	平成 20 年 2 月 6 日～平成 20 年 3 月 7 日	
回答状況	177 名 / 603 名 (29.4%)	回答者 平均年齢 64 歳

各設問の回答結果（抜粋）

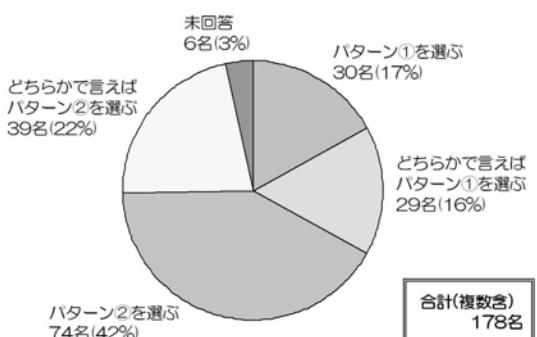
設問-2 ***地区全体のコンセプトについて*** あなたは、どのエリアで土地利用がしたいですか？（どのエリアに土地が欲しいですか？）



設問-3 ***『ぎのわん多自然型住宅地』エリアについて*** 多自然型住宅地エリアの整備の方針について、どう思いますか？

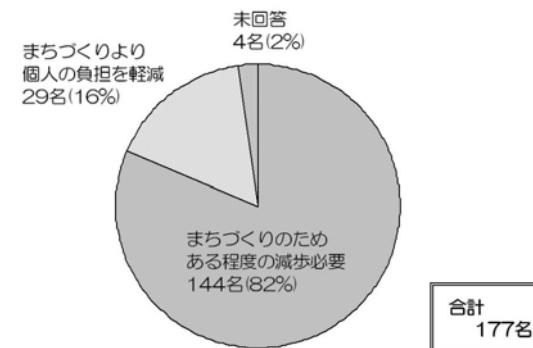
『ぎのわん多自然型住宅地』整備の方針(案)

- パターン①：一般的な区画整理の造成
無機質な景観になりがちだが、擁壁を設置し平地を広く確保する。
- パターン②：斜面を活かした造成
平地は狭くなるが、斜面地を設け景観に配慮した住環境を目指す。



表】パターン別比較表		
	【パターン①の場合】	【パターン②の場合】
特徴 (メリット)	<ul style="list-style-type: none"> 最大限に平地が確保できる。 一般的な建築物でOK。 	<ul style="list-style-type: none"> 必然的に斜面部が緑化される可能性。 擁壁がないため、開塞感がない。
課題 (デメリット)	<ul style="list-style-type: none"> 巨大な擁壁が存在し圧迫感がある。 擁壁築造に費用が掛かる。 擁壁の管理が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 斜面地の確保が少なくなる。 (小規模の宅地には不利) 斜面地の管理が必要。 (排水、落ち葉の管理)
イメージ		

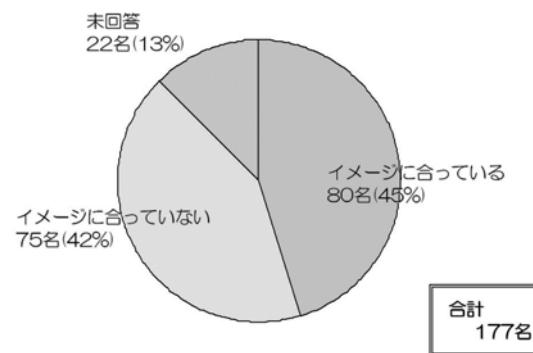
設問-4 ***『ぎのわん多自然型住宅地』エリアについて*** 特色あるまちづくりのために少しの負担(減歩)は、必要だと思いますか？（“少し”的目安：減歩率 1~2%程度）



特色あるまちづくり例と地区内文化財

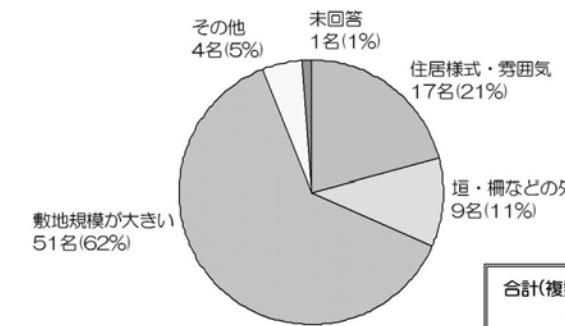


設問-5-1 ***『瑞慶覧ハウジングエリア』について*** 今回作成されたバースは、あなたの思い描く『瑞慶覧ハウジングエリア』のイメージと合っていますか？



宅地の大きさ：
1000 m² (約 300 坪)
建物の大きさ：
建築面積：概ね 60 坪程度
延べ床面積：概ね 80 坪程度

設問-5-2 設問-5-1で【イメージと合っていない】と回答された方へ あなたの思い描くイメージと“何処が”違いますか？



設問-6 ***土地区画整理事業の施行者について*** 本地区的土地区画整理事業の施行者について、 どうお考えですか？

